

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分  
 【発行日】平成20年3月13日 (2008.3.13)

【公開番号】特開2002-208539(P2002-208539A)  
 【公開日】平成14年7月26日 (2002.7.26)  
 【出願番号】特願2001-3083(P2001-3083)  
 【国際特許分類】

H 0 1 G 9/004 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 G 9/04 3 1 0

H 0 1 G 9/05 C

【手続補正書】  
 【提出日】平成19年12月19日 (2007.12.19)  
 【手続補正 1 】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1 】

面実装型固体電解コンデンサであって、  
陰陽極両端子が、コンデンサ素体のモールド体の一端面側に設けられており、  
前記両端子部が、前記一端面側から前記モールド体の底面にL字状に延設されている面  
実装型固体電解コンデンサ。

【請求項 2 】

前記両端子部の一方が、前記モールド体の前記一端面の一側縁略中央に配置され、  
前記両端子部の他方が、前記一端面において前記一方の端子部の側方に配置されている  
請求項 1 に記載の面実装型固体電解コンデンサ。

【手続補正 2 】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 6  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

上述の問題を解決するために、本発明の面実装型固体電解コンデンサは、陰陽極両端子  
が、コンデンサ素体のモールド体の一端面側に設けられており、前記両端子部が、前記一  
端面側から前記モールド体の底面にL字状に延設されている構成である。また、この面実  
装型固体電解コンデンサは、さらに、前記両端子部の一方が、前記モールド体の前記一端  
面の一側縁略中央に配置され、前記両端子部の他方が、前記一端面において前記一方の端  
子部の側方に配置されている構成であってもよい。

【手続補正 3 】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 7  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

【発明の作用及び効果】

本発明の面実装型固体電解コンデンサは、陰陽極両端子が、コンデンサ素体のモールド体の一端面側に設けられているので、コンデンサ素体をモールド体に対し相対的に大きくすることができ、コンデンサ容量を大きくできる。さらに、両端子部を一端面側からモールド体の底面にＬ字状に延設した構成にしたから、コンデンサの一端面を取り付け基板に平行にし、両端子を利用して実装することもできるし、又はコンデンサの底面を取り付け基板に平行にし、両端子を利用して実装することもできる。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

また、上記の面実装型固体電解コンデンサは、前記両端子部の一方が、前記モールド体の一端面の一側縁略中央に配置され、前記両端子部の他方が、前記一端面において前記一方の端子部の側方に配置されている構成であってもよい。例えば、両端子部の他方は、一端面の一側縁において一方の端子部に対し点対称位置に分岐配置してもよい。このため、取り付け基板に対して、前記中央に位置する一方の端子部とその両側に位置する他方の１つの端子部を利用して実装できる。この場合に取り付け基板の配線部に対する端子部の極性が逆であるときには、その配線部に対してコンデンサを前記中央の端子部と分岐した１つの端子部との距離分だけずらせて前記他方の残りの１つの端子部を利用するようにすればよく、コンデンサを１８０度回転させる場合よりコンデンサの取り付け作業が簡単になる。また、取り付け基板に対してコンデンサの長さ方向を垂直状態に実装する場合であっても、コンデンサの端子部の極性が合わないときには、その垂直状態でコンデンサを前記中央の端子部と分岐した１つの端子部との距離分だけずらせて前記他方の残りの１つの端子部を利用するようにすればよく、コンデンサを１８０度回転させる場合よりコンデンサの取り付け作業が簡単になる。また、前記両端子部を前記一端面から前記モールド体の底面にＬ字状に延設した構成なので、コンデンサの長さ方向を取り付け基板に対して平行に取り付けるでも、前記中央に位置する一方の端子部とその側方に位置する他方の１つの端子部を利用して実装することが出来る。従って、コンデンサを１８０度反転させたり、取り付け基板の配線の極性を配慮して基板設計をする必要も無く、コンデンサの取り付け作業が容易になる。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】削除

【補正の内容】